



キーワード: スマートキャンパス、リスク管理、AI

箕面キャンパスに AI 警備システムを本格導入 —地域に開かれた安全・安心な「グローバルキャンパス」を目指して—

❖ 概要

大阪大学は国立大学として初めて、来館者の長時間の滞留や不審な動きを検知・通知する AI 警備システムを箕面キャンパスに導入しました。これにより、学生やキャンパスを利用される市民のみなさまの安全を保ちながら、地域に開かれたグローバルキャンパスを実現してまいります。



大阪大学箕面キャンパス(大阪府箕面市船場東 3 丁目 5 番 10 号)

大阪大学外国語学部、大学院人文学研究科外国学専攻、日本学専攻(応用日本学コース)、日本語日本文化教育センター等を中心とする大阪大学箕面キャンパス(大阪府箕面市船場東 3 丁目 5 番 10 号)は、市民に開かれた「世界と市民を結ぶキャンパス:大阪大学グローバルキャンパス^{※1}」を目指して、2021 年 4 月に開学しました。1 階のメインエントランスや、箕面船場阪大前駅直結のデッキからつながる 3 階の入口は誰でも出入りが可能となっており、キャンパス内で開催される市民向けの講座やイベントには常に多くの方が訪れています。



イベント時の様子(3 階ピロティ)

学生・利用者の安全を保つことを目的に館内には数多くの防犯カメラが設置されていますが、その映像すべてをリアルタイムで人間が目視確認するのは困難で、不特定多数の方が出入りする箕面キャンパスの安全を担保することが課題となっていました。

地域に開かれたキャンパスを継続しながら、警備体制を強化するため、箕面キャンパスでは 2024 年 10 月から株式会社アジラの提供する警備システム「AI security asilla^{※2}」を試験的に導入し、今般、本格導入に至りました。「AI security asilla」では、長時間の滞留や不審な動きをリアルタイムで検知し、アラームで知らせることができます。さらに学習機能により、その精度は日々向上し、警備の質を高めていくことができます。また、今後のさらなる機能充実により、キャンパス内の人流測定などに活用することも期待されています。

AI 警備システム等の活用により、大阪大学は一層安心して快適な箕面キャンパスを「世界と市民を結ぶキャンパス:大阪大学グローバルキャンパス」として地域社会との共創を進め、大学と地域社会の価値向上を目指してまいります。

❖ 用語の説明

※1 大阪大学グローバルキャンパス

大阪大学のモットーである「地域に生き世界に伸びる」を体現すべく、大阪大学グローバルキャンパス(箕面キャンパス)では、世界中の言語・文化研究を地域のみなさまと共有するイベントや講座を企画しています。

[大阪大学グローバルキャンパス\(OUGC\)パンフレット](#)

このような取り組みに関するご取材もお待ちしております。



※2 AI Security asilla

既存の防犯カメラ映像をAIが解析し、異常行動(暴力、転倒、侵入など)や、注意行動(徘徊、混雑、体調不良など)をリアルタイムで検知するシステムです。24 時間 365 日、AI が映像を監視することで、警備員の負担を軽減し、より迅速かつ正確な対応を可能にします。

AI Security | asilla

防犯カメラ映像をリアルタイムで解析し多彩な検知項目を保有

迷惑行為	ホスピタリティ	施設利用状況	違和感の検知
 暴力・破壊行為  禁止エリアへの侵入	 転倒やふらつき	 人数カウント	 エスカレーター違和感
 自転車 スケボー  乗り入れ  タムロ行為	 車椅子・白杖ご利用者	 混雑状況	 違和感 / 不審行動検知

外部機器連携

異常検知時にはパトライトやスピーカーなどの外部機器とも自動連携



Buddycom 連携

トランシーバーアプリと連携し音声とテキストで検知内容をスマホでリアルタイム受信



※外部機器連携機能、Buddycom 連携機能については箕面キャンパスでは未導入

❖ 発信先 報道機関

大阪大学から 大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会、科学記者会
株式会社アジラから 関係各報道機関